

御得意先：

殿

## 納入仕様書

品名：蓄電池対応ハイブリッドパワーコンディショナ

型名：EHK-S99MP5B

2026年 2月 24日

受領印欄

## ダイヤゼブラ電機株式会社

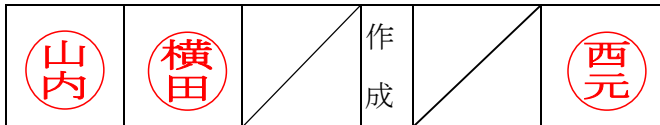
本社  
東京支社

〒532-0026  
〒101-0054

大阪府大阪市淀川区塚本1丁目15番27号  
東京都千代田区神田錦町3丁目18番3号

電話 06(6195)5230(代)  
電話 03(5259)6250(代)

ES 技術本部



## 目 次

1. 納入仕様書変更来歴書 .....P.1
2. 製品仕様書 .....P.1~12
3. 入力電力特性図 .....P.1
4. 外観寸法図 .....P.1
5. ラベル図及び印刷表示 .....P.1~4
6. ラベル貼付図 .....P.1~2
7. 梱包仕様 .....P.1
8. 荷姿図 .....P.1
9. 主回路ブロック図 .....P.1
10. 試験成績書 .....P.1



製品仕様書	型名 EHK-S99MP5B	
<p>1.適用範囲</p> <p>この仕様書は、蓄電池対応ハイブリットパワーコンディショナ(以下、本製品またはパワーコンディショナという) <u>EHK-S99MP5B</u> に適用する。</p> <p>尚、本製品で使用可能な蓄電池ユニットは EOK-LB77-TK (通信ケーブルは STP LAN ケーブルを使用)、表示ユニットは ZDIS-35ENBV02 (専用接続ケーブルは ZC-RS*B-NC を使用)、CT センサキットは EOF-16CT100A、EOF-24CT250A、EOF-36CT600A である。</p> <p>※上記以外の型番を組み合わせて使用した場合エラーとなります。</p> <p>2.適用文章</p> <p>2.1 準拠規格</p> <p>適用時点で入手し得る最新版の次の文書は、この仕様書で規定する範囲で、これに準拠する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 電気事業法</li><li>(2) 電気設備の技術基準の解釈</li><li>(3) 系統連系規程(JEAC9701-2024)</li><li>(4) 電力品質確保に係る系統連系技術要件ガイドライン</li><li>(5) 各電力会社系統連系技術要件</li><li>(6) 小型分散型発電システム用系統連系保護装置等の試験方法通則(JET)</li><li>(7) マルチ入力システム用系統連系保護装置等の個別試験方法(JET)</li><li>(8) 日本工業標準調査会 (JIS C) 規格</li><li>(9) 電気用品安全法</li><li>(10) 電気用品の技術上の基準を定める省令</li><li>(11) 日本電機工業会標準規格 (JEMA)</li><li>(12) 日本電気規格調査会標準規格 (JEC)</li><li>(13) 平成 27 年 1 月 26 日施行 再生エネルギー特別措置法施行規則の改正(出力制御ルール)</li><li>(14) 出力制御機能付 PCS(広義)の技術仕様(JEMA/JPEA/電事連)</li><li>(15) 環境共創イニシアチブによるネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業補助金補助対象基準が定める蓄電池システムの一般及び安全要求事項(SII)</li><li>(16) 低圧蓄電システムの安全要求事項 (JIS C 4412)</li><li>(17) ECHONET Lite 規格</li></ol> <p>2.2 用語の定義</p> <p>用語の定義は、JIS C 8905:独立形太陽光発電システム通則、及び JIS C 8960:太陽光発電用語による。</p> <p>3.仕様</p> <p>3.1 概略仕様</p> <p>本製品は、電気用品安全法に準拠し、系統連系規程および系統連系技術要件ガイドラインの規格を満足、かつ CISPR11 第 6.2 版に適合したもので、専用蓄電池との組合せにて低圧蓄電システムの安全要求事項 (JIS C 4412) を満足する。連系運転時には太陽電池からの直流入力を PWM 変調方式により交流に変換して電力系統及び負荷へ出力、太陽電池からの入力電力または電力系統からの交流電力を直流に変換した電力で蓄電池を充電、蓄電池へ充電した電力を PWM 変調方式により交流に変換し電気事業法に基づく電力系統へ逆電力が生じないように制御しながら出力する。(ただし、設定により逆潮流することもできる。)</p>		

自立運転時には太陽電池からの直流入力と蓄電池からの直流電力によって定格出力電力内で安定した自立運転出力をする。また、連系/自立運転の自動切替え機能を満足しており、負荷への供給源を自動で切替することが可能となっている。但し主分電盤に自立運転出力を供給する場合は別途電力切替ボックスが必須となる。

また、本製品は4項に示す電氣的仕様を有すると共に、5項に示す連系保護機能の設定値の範囲内であり、かつ、日本国内での使用温度範囲および環境条件の範囲内であれば正常に機能を果たすものとする。

また、本製品は力率一定制御機能が備わっており、力率を+0.8~+1.0まで変更することが可能である。

尚、本製品は塩害地域対応品ではないため、3.5項に示す塩害地域には設置不可とする。

## 3.2 外観

### 3.2.1 形状

外観寸法図参照

- ・特性・性能および美観を損なうような傷・汚れ・変形等のないこと。
- ・塗装はがれ、浮き、錆び、傷のないこと。
- ・ラベル位置、方向のずれがないこと。
- ・筐体構成板の浮き、変形、留めはずれがないこと。

### 3.2.2 寸法

本体設置状態:445(W)×968(H)×218(D) mm (取付金具、突起部を除く)

梱包状態:520(W)×1040(D)×355(H) mm

### 3.2.3 質量

本体:48 kg

梱包状態:51kg

## 3.3 表示

本体:定格ラベル、ロゴラベル、PLラベル、注意ラベル、LEDラベル、認証ラベル、バリア印刷、蓄電池端子台ラベル、AC端子台ラベル、通信線接続先ラベル

梱包:梱包ラベル

## 3.4 認証番号

系統連系認証:MD-0080

S-JET 認証:1677-99003-006

ECHONET Lite AIF 認証:LZ-000470

ECHONET Lite 認証:GZ-001036 (Appendix Release R.2)

工事設計認証(電波法):**R** 201-190886

## 3.5 使用環境

### 3.5.1 設置場所

屋内外共用(但し、下記場所へは**設置しないこと**。)

- ・塩害地域(海岸から500m以内又は潮風が直接当たる場所など、塩害の発生する可能性のある地域)
- ・直射日光が当たる場所(温度抑制が発生し、出力を抑制する可能性があるため。)
- ・浸水の恐れのある場所
- ・過度の水蒸気、油蒸気、煙、塵埃、腐食性物質、爆発物/可燃性ガス、化学薬品、火気にさらされる場所、及びさらされる恐れのある場所

- ・結露が発生する恐れがある冷気が直接あたる場所(室外機の吹出し口直近 等)
- ・湿気が多く、風通しが悪い場所
- ・天地逆方向の設置や横方向あるいは、水平方向に設置しなければならない場所
- ・締め切った場所や風が通らず熱がこもる場所、コンクリートなどからの輻射熱が発生する場所  
(温度抑制が発生し、出力を抑制する可能性があるため。設置する場合は、排熱設計を考慮すること。)
- ・ストーブなどの熱源から熱を直接受ける場所
- ・振動・衝撃の加わる場所
- ・性能や構造に影響を及ぼすような振動が発生、あるいは発生する可能性のある場所、または指定の固定方法ができない場所
- ・火花が発生する機器の近傍
- ・アマチュア無線のアンテナが近くにある場所  
(太陽光発電システムからの漏洩電波雑音がアマチュア無線に影響を与えることがあるため。)
- ・防災無線に影響を及ぼす場所  
(太陽光発電システムからの漏洩電波雑音が防災無線に影響を与えることがあるため。)
- ・ラジオ、TV に影響の恐れのある場所
- ・医療用機器の近傍
- ・容易に点検ができない場所(高所や、階段の上部等で、足場が無い場所には設置しないこと。)
- ・吸気口・排気口が積雪等で閉塞する場所
- ・電力契約による最大電流値が、CT ユニットの定格電流を超える場所
- ・本仕様書に記載の 3.5.2 周囲条件および 3.5.3 設置時の離隔距離を満たさない場所
- ・設置スペースや点検作業スペースが確保出来ない場所
- ・外壁に必要な配線孔面積が取れない場所
- ・人が常時いる場所や騒音が反響するなど、騒音の制約を受ける場所(学校の教室、図書館など)
- ・監視カメラ、電波誘導などの高周波ノイズの影響が懸念される場所
- ・安全な運搬ルートが確保できない場所

### 3.5.2 周囲条件

動作温度範囲 :  $-20 \sim +50$  °C(ただし 5.6(3)に記載の通り、40°C以上では出力を抑制して動作)

保存温度範囲 :  $-20 \sim +60$  °C

動作湿度範囲 : 90 %RH 以下(ただしパワーコンディショナ内部に結露なきこと。)

標高 : 2000 m 以下

### 3.5.3 設置時の離隔距離

本製品設置時の地面や壁等構造物との離隔距離は図1の通りとする。

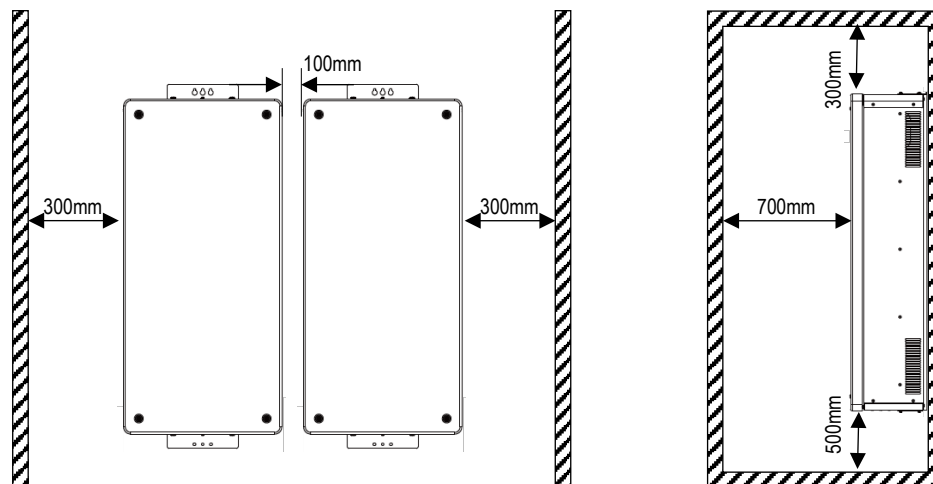


図1 設置時の離隔距離

### 3.6 構造仕様

本製品の構造は、電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈について別表第八に準拠するとともに、製品の安全設計を確保する為に以下の項目すべてを満足するものとする。

- (1) パワーコンディショナの外装は内部が発火しても、外部に延焼しない材料(金属、もしくは難燃樹脂材料規格 UL94 の認証品同等以上の部品)を使用して6面を覆う。
- (2) 電気回路の充電部は露出なきこと。また、端子部は端子カバー等を設け、直接人が触れられない構造。
- (3) 外箱および外枠は、輸送に十分耐える機械的強度と、長期間にわたり耐候性を持つ材料によって構成される。
- (4) 筐体は、使用状態において内部に機能上支障となるような浸水が生じない構造。(IP55)
- (5) 製品の使用温度範囲内において、収納された機器および部品の温度が、その機器および部品の最高動作温度を越えない構造。
- (6) 現場据付け、外部導体の接続、収納機器点検等が容易にできる構造。
- (7) 全ての部品及び配線は筐体、及びその他の部品、配線などの構造物から性能上問題となるような応力が加わらない構造。

### 3.7 接続端子仕様

本製品は、パワーコンディショナ本体に表1に示す外部配線用端子を設けるものとする。

パワーコンディショナの配線は、本体底面のノックアウト穴を使用した露出配線と、隠ぺい配線用スリーブを使用した壁内隠ぺい配線が選択可能である。

表 1 外部配線用端子仕様

端子名	端子数	端子形状	締め付けトルク
太陽電池入力 (+、-)	10	端子台 M5(2P×5)	1.85～2.05 N・m
系統出力(单相 3 線配電線) (U、O、W)	3	端子台(M5)	1.85～2.05 N・m
自立出力(单相 3 線配電線) (U、O、W)	3	端子台(M5)	1.85～2.05 N・m
蓄電池 (P、N)	2	端子台(M5)	1.85～2.05 N・m
接地線(系統連系入出力用)	1	端子台(M5)	1.85～2.05 N・m
接地線(蓄電池用)	1	端子台(M5)	1.85～2.05 N・m
表示ユニット通信端子	5p	コネクタ	-
USB	1	Type A	-
Ethernet	1	8P8C ポート Cat.5 以上のストレート結線 LAN ケーブル	-
CT センサ	4p	コネクタ	-
蓄電池通信	1	8P8C ポート Cat.5 以上のストレート結線 STP LAN ケーブル	-
PCS 通信(IN、OUT)	1×2	8P8C ポート Cat.5 以上のストレート結線 STP LAN ケーブル	-
接地線(通信線用)	2	アース線丸端子ネジ止め(M4)	1.37～1.57 N・m
外部接点入出力端子(*1)	4p	コネクタ	-

(\*1) : 外部接点機器がある場合のみ使用。

### 3.8 無線通信仕様

本製品は、無線 LAN(IEEE802.11b/g/n)通信モジュールを内蔵している。

### 3.9 接続可能な太陽電池モジュール

- ・ PID 対策パネル( IEC TS 62804-1 等 PID 試験規格 合格品 )を使用すること。
- ・ 正極接地、負極接地はしないこと。
- ・ 1 回路の並列数は 2 並列までとすること。3 並列以上接続する場合は、太陽電池モジュールメーカーに接続方法をご確認ください。
- ・ 公称最大出力動作電圧が 400V 以下の場合、1 回路の短絡電流は 23A 以下とすること。公称最大出力動作電圧が 400V を超える場合、1 回路の入力電流は 13.5A 以下とすること。
- ・ 本製品は最大出力点追従制御機能を有しており、オプティマイザ付き太陽電池モジュールと組み合わせて使用すると干渉し、誤動作や期待される出力が得られない恐れがあるため、オプティマイザ付きパネルは使用不可とする。
- ・ 昇圧ユニット(ストリングコンバータ)および昇圧機能付接続箱と組み合わせて使用すると入力過電圧により DC/DC コンバータが故障する可能性があるため、昇圧ユニットおよび昇圧機能付接続箱は使用不可とする。

### 3.10 パワーコンディショナの操作

#### 3.10.1 設定操作

本製品の設定操作は、情報通信端末(スマートフォンやタブレット)または PC と本製品とを無線 LAN もしくは有線 LAN で接続して行う。表示ユニットでは設定操作を行うことはできない。

#### 3.10.2 運転操作

本製品の運転操作は、情報通信端末(スマートフォンやタブレット)と本製品とを設置施設内の LAN を経由して接続して行う。表示ユニットでは限定的な運転操作を行うことができる。

### 3.11 自立運転性能

本製品は蓄電池併用時に 4.項に示す自立運転出力を行う。連続運転可能時間は蓄電容量および太陽光発電の状況により変動する。また下記の状況において動作が制限される場合がある。

(1)蓄電池を併用しない場合は、出力を単相 2 線式 1.5kVA に制限する。

※使用可能なコンセント数は U-O/W-O の各 1 口 (合計 2 口) のみで、最大出力は各 1.5kVA となる。

(2)モーターで作動する機器や運転開始時に大きな電流が流れる機器を使用した場合は、出力電圧が低下して機器を使用できない場合がある。

(3)特定の電流波形(半波整流)を有する機器(一部のドライヤーやヒーターなど)は使用できない場合がある。

(4)上記(2),(3)の場合や出力性能を超える容量の負荷を動かした場合は、過負荷エラーで出力を停止し、一定時間経過後に運転を再開する。

### 3.12 インターネット接続機能

本製品をインターネット接続することで下記の機能を提供する。ただしインターネット回線は使用者が用意するものとし、本製品との接続は取付工事説明書に従うものとする。

(1)電力会社による遠隔出力制御に関する通信

(2)本製品に内蔵しているソフトウェア更新

(3)当社サーバでの運転データ保管

(4)スマートフォン用アプリ「システムモニタ 2」を宅外でも使用することができる。

### 3.13 スマートフォンアプリによる運転確認

スマートフォン用アプリ「システムモニタ 2」によって本製品の運転確認と運転モードの切替を行うことができる。

(※)使用方法および条件は取扱説明書に従う。

## 4.電気的仕様

表 2 電気的仕様

		連系運転時	自立運転時	
主回路構成		複数台の DC/DC コンバータ回路+PWM インバータ回路		
主回路制御方式		電圧型電流制御方式	電圧型電圧制御方式	
電気方式		単相 2 線式 202V 単相 3 線式配電線に接続		
変換方式		PWM 変調方式		
太陽電池	定格入力電圧	DC 300V		
	入力回路	5 回路		
	最大入力電流	13.5A(各入力)		
	入力可能電圧範囲	DC 0V ~ 450V (部品破壊なきこと)		
	運転電圧範囲	DC 30V ~ 450V		
	1 回路入力あたりの入力電圧に対する入力電力範囲	DC30V~450V:405W~4000W		
	太陽電池モジュールからの入力に対する PV DC/DC コンバータ出力電力	太陽電池モジュールからの入力が、出力換算で 9.9kW を超える電力が入力可能な場合、PV 入力回路により電力を制限して出力電力合計で最大 9.9kW+蓄電池充電量に制限する。		
蓄電池	入力回路	1 回路		
	入出力電圧範囲	0~450V		
	最大入出力電力	5700W		
	最大入出力電流	20A		
交流出力	定格出力(*1)	力率 1.0:9.9kW 力率 0.95:9.9kW	単相 2 線式(UO/WO):各 2.75kW 単相 3 線式(UOW) :5.5kW	
	定格容量(*1)	力率 1.0:9.9kVA 力率 0.95:10.421kVA	単相 2 線式(UO/WO):各 2.75kVA 単相 3 線式(UOW) :5.5kVA	
	定格出力電流(*1)	49.5A	単相 2 線式(UO/WO):各 27.5A 単相 3 線式(UOW) :27.5A	
	出力最大電流	56.0A	単相 2 線式(UO/WO):各 27.5A 単相 3 線式(UOW) :27.5A	
	出力電圧	定格	AC202V, 50/60Hz	単相 2 線式(UO/WO):101V 50/60Hz 単相 3 線式(UOW) :202V 50/60Hz
		最大	AC240V, 50/60Hz (OVR 設定:120V 時)	単相 2 線式(UO/WO):111V, 50/60Hz 単相 3 線式(UOW) :214V, 50/60Hz
		最小	AC160V, 50/60Hz (UVR 設定:80V 時)	単相 2 線式(UO/WO):91V, 50/60Hz 単相 3 線式(UOW) :190V, 50/60Hz
電力変換効率 (*2)	96.0%以上	蓄電池なし、太陽電池定格入力時		
最大変換効率	96.5%			
力率一定制御機能	0.80~1.00 (0.01 ステップ)			

消費電力(夜間電力)(*3)	12W以下(周囲温度 25℃)	
無負荷損失(*4)	25W(周囲温度 25℃)	
騒音値(*5)	37+3dB以下	
力率(設定1.0の場合)	0.99以上(定格出力時) 0.95以上(定格の1/2出力以上) 進相無効電力制御時は0.85以上	
高調波電流歪率	総合5%以下、各次3%以下	総合5%以下、各次3%以下 [UW間のみ、線形負荷運転時]
絶縁方式	トランスレス方式	
制御電源	太陽電池、蓄電池(夜間制御用電源は系統電源、蓄電池より供給)	
電力制御方式	各DC/DCコンバータ入力単位の 独立した最大電力追従(MPPT) 方式。MPPT効率98%以上	パワーコンディショナ出力電圧一定 制御
起動制御機能(*6)	起動条件:何れかのDC/DCコンバー タ入力電圧がDC35V以上 または系統の線間電圧(U-W間)が AC160V以上  停止条件:全てのDC/DCコンバータ 入力電圧がDC20V以下かつ蓄電池 残量(SOC)が0%かつ系統の線間電 圧(U-W間)がAC160V以下	起動条件:何れかのDC/DCコンバー タ入力電圧がDC35V以上  停止条件:全てのDC/DCコンバータ の入力電圧がDC25V以下 かつ蓄電池残量(SOC)が0%
運転制御方式	自動運転/自動停止	自動起動/自動停止
FRT要件	残電圧0%対応 位相変化に伴う電圧低下対応	
パワーコンディショナ保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誤配線、誤使用、入出力変動、雷サージ、ノイズに対して不安全にならないよ うな保護機能を有する。</li> <li>・入出力端子台温度上昇、PV DC/DCコンバータ FET 温度上昇、IPM 温度上昇、出力過電流、IPM異常を検出し停止する。</li> </ul>	
冷却方式	強制空冷(外部ファン、内部ファン有)	

(\*1) : 自立運転時は定格値ではなく最大値

(\*2) : 空冷ファン消費電力を含む入力電力と出力電力の比。(試験法は、JIS C 8961 準拠)  
蓄電池なし、太陽電池定格入力時

(\*3) : 太陽電池のみ(蓄電池なし)の場合

(\*4) : 太陽電池と蓄電池ありの場合

(\*5) : パワーコンディショナ本体前面から1m離れた位置での測定値。

(\*6) : 定格系統電圧時

## 5. 連系保護機能仕様

### 5.1 連系保護リレー機能

本製品は表 3 に示す設定範囲で連系保護リレー機能を有する。

系統異常継続中は、いかなる操作によっても連系運転はしない。

系統が復旧した場合、連系条件を確認し、一定の再投入時間後に連系運転を自動で再開する。

その再投入阻止時間(自動復帰待機時間)は、0 ～ 300 秒で設定可能とする。

表 3. 連系保護機能の整定値と整定時間

項目	整定範囲	整定時間
交流不足電圧	80 ～ 93 V で 0.1 V ステップ	0.50 ～ 2.00 秒で 0.01 秒ステップ
交流過電圧	110 ～ 120 V で 0.1 V ステップ	0.50 ～ 2.00 秒で 0.01 秒ステップ
周波数低下	50.0 Hz	47.0 ～ 49.5 Hz で 0.1 Hz ステップ
	60.0 Hz	57.0 ～ 59.5 Hz で 0.1 Hz ステップ
周波数上昇	50.0 Hz	50.5 ～ 52.0 Hz で 0.1 Hz ステップ
	60.0 Hz	60.6 ～ 62.4 Hz で 0.1 Hz ステップ

#### ・交流不足電圧、交流過電圧

整定値の±2 %以内、整定時間の±0.1 秒以内で保護機能が動作する。

#### ・周波数低下、周波数上昇

整定値の±0.1 Hz 以内、整定時間の±0.1 秒以内で保護機能が動作する。

### 5.2 単独運転検出機能

本製品は以下に示す単独運転検出機能を有する。

#### (1) 受動的検出 : 周波数変化率検出方式

検出レベル(出荷時) : 1.20 Hz (0.00 Hz ～ 5.00 Hz, 0.01 Hz ステップ)

検出要素 : 周波数変動

検出時限 : 0.5 秒以下(固定)

#### (2) 能動的検出 : ステップ注入付周波数フィードバック方式(フリッカ対策 STEP3.2 対応)

検出レベル(出荷時) : 1.20 Hz (0.00 Hz ～ 5.00 Hz, 0.01 Hz ステップ)

検出要素 : 周波数変動

検出時限 : 瞬時

### 5.3 並列時許容周波数

本製品は以下に示す並列時許容周波数機能を有する。

検出レベル(出荷時) : 50.1 Hz (50Hz エリア) (50.10 Hz ～ 51.00 Hz, 0.05 Hz ステップ)

: 60.1 Hz (60Hz エリア) (60.10 Hz ～ 61.00 Hz, 0.05 Hz ステップ)

検出要素 : 周波数

検出時限 : 瞬時

#### 5.4 電圧上昇抑制機能

本製品は、連系運転時に商用電源の電圧が設定した上限値まで上昇した場合、パワーコンディショナ出力を抑制し電圧上昇を抑制する。

系統電圧が電圧上昇抑制整定値を 200 秒以上超過継続すると、進相無効電力制御を実施する。

力率 0.85 まで下げた時に、系統電圧が整定値を上回る場合は有効電力抑制制御を行う。(出力電力の 0%まで)

#### 5.5 直流分流出検出機能

本製品は、パワーコンディショナ出力電流を常時監視し、直流成分が 515.9mA を超える場合、0.5 秒以内にパワーコンディショナを停止させる。

ただし、系統配電線の電圧歪や電圧・周波数変動に対しては不要停止しない。

#### 5.6 逆電力検出機能(蓄電池併設時)

本製品は、275W 以上の逆潮流が発生すると 0.5 秒以内に蓄電池放電を停止させる。

ただし、施工時に電池逆潮流を可として、別途制御装置から指令を受ける場合は蓄電池逆潮流も可能とできる。

#### 5.7 その他保護機能

##### (1)直流過電圧

内部バス電圧が DC 470 V  $\pm$ 5%で、動作時間 0.5 秒以下でパワーコンディショナが出力停止する。

##### (2)直流不足電圧

内部バス電圧が DC 80 V  $\pm$ 5%で、動作時間 0.5 秒以下でパワーコンディショナが出力停止する。

##### (3)温度保護機能

-20 ~ +40 °C : 定格出力時に内部部品の使用温度範囲を超えることなく出力を行う。※1

+40 ~ +50 °C : 内部パワーモジュールの温度を検出して出力電力を制御し、内部部品の使用温度範囲を超えることなく、出力を行う。

※1: 定格出力電圧を下回る系統に接続した場合は、温度上昇出力抑制の開始が早まる場合がございます。

##### (4)直流地絡検出機能

直流地絡を常時監視し、直流地絡を検出するとパワーコンディショナが出力停止する。

#### 5.8 省令改正による出力制御

本製品は、出力制御装置である ACCZH22007(通信制御基板)を内蔵し、省令改正による遠隔出力制御に対応しております。

出力制御の詳細につきましては、経済産業省ホームページをご覧ください。

出力制御は電力会社の要請により実施されますので、詳細については電力会社にご確認ください。

遠隔出力制御のためにはインターネット接続が必要です。設置者にてご用意ください。

## 6.安全性

## 6.1 商用周波耐電圧

AC 1350 V、1 分間印加して、異常発生のなきこと。

蓄電池入力を含む DC 入力端子(+/-)全て・AC 出力一括と、筐体・アース一括して測定する。

## 6.2 絶縁抵抗

1 M $\Omega$  以上(DC 500 V)

蓄電池入力を含む DC 入力端子(+/-)全て・AC 出力一括と、筐体・アース一括して測定する。

また、AC 出力一括と筐体・アース一括して測定する。

## 6.3 アース導通試験

アース端子と外郭金属部間に AC25A、1 分間印加して、2.5V 以下であること。

## 7.出荷形態

## 7.1 梱包形態

個装梱包箱にパワーコンディショナ本体と 7.2 項に記載している同梱物を梱包し、パレットに積載する。

## 7.2 同梱物

梱包に同梱する付属品は下記の通り。

品名	型番	数量	備考
取扱説明書	DOC01-ZH24006-*J	1 部	*は改訂番号(初版は A)
取付工事説明書	DOC02-ZH24006-*J	1 部	*は改訂番号(初版は A)
出荷試験成績書	—	1 部	
注意喚起ビラ	DOC07-ZH24006-*J	1 部	*は改訂番号(初版は A)
壁掛用取付金具	上:ZH18009-5013-00-* 下:ZH18009-5014-00-*	各 1	*は管理用番号
絶縁スリーブ	TCV-81(02)	3	
絶縁スリーブ	TCV-53(02)	14	
丸型端子	R8-5	3	
丸型端子	R5.5-5	14	
アース用ビス	+A M4.0X08-FE/Z1/CR3-B-S	2	
取付金具用ネジ	+A M4.0X12-SU/ZZ/ZZZ-P-S	10	
本体固定用ネジ	+D T6.0X75-SU/ZZ/ZZZ-P-S	6	

出荷試験は全数実施し、製品各々に同梱して納品する。

## 8.その他

### 8.1 本仕様書の取り扱い

本仕様書は第三者には開示しないものとする。

\*ただし、電力会社・公的機関への申請を目的とする開示はこれに該当しません。

### 8.2 問題発生時の処置

本仕様書及び適用文書に定め無き事項および定めある事項で疑義が生じた場合、双方誠意を持って協議し解決に努めるものとする。

### 8.3 RoHS 対応

本製品の構成部品は全て RoHS 対応品を使用している。

### 8.4 原産国

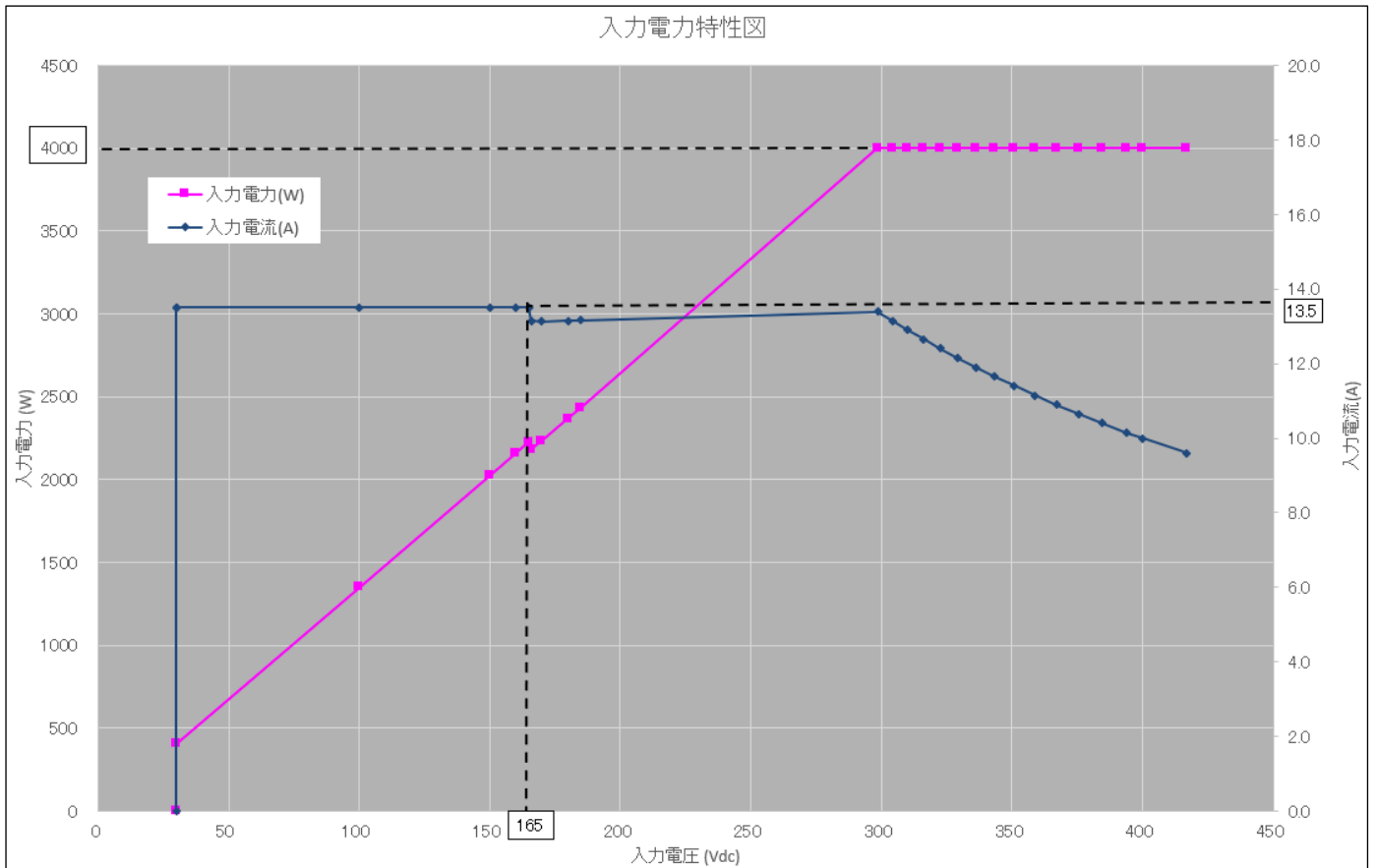
原産国：日本

### 8.5 製造場所

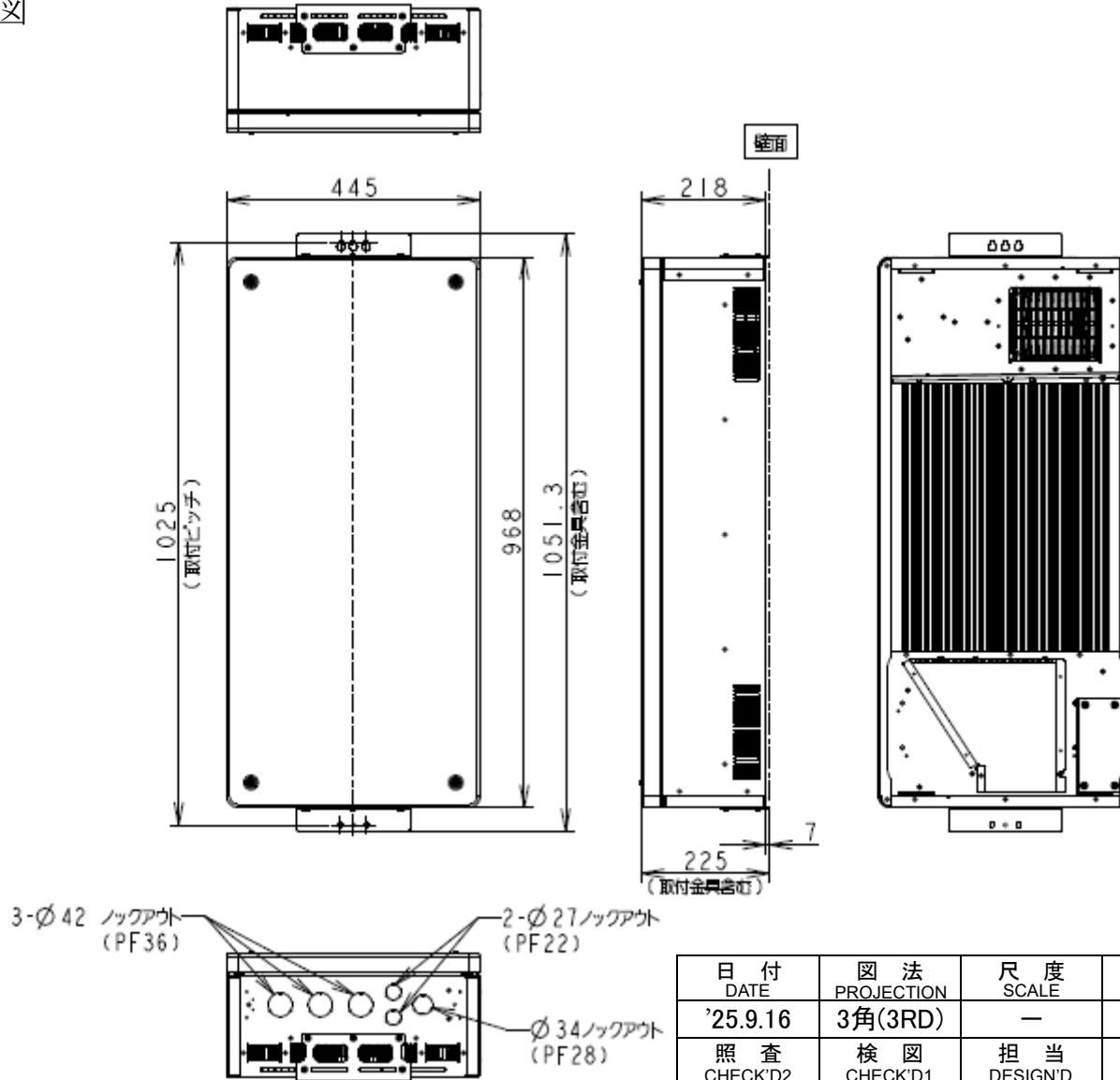
ゼブラ電子株式会社

栃木県大田原市若草 1 丁目 1475 番地

## 3. 入力電力特性図



#### 4. 外観寸法図



日付 DATE	図法 PROJECTION	尺度 SCALE	単位 UNIT	製品名[Product Name.]
'25.9.16	3角(3RD)	—	mm	EHK-S99MP5B
照査 CHECK'D2	検図 CHECK'D1	担当 DESIGN'D	製図 DRAWN	図名[Name]
				蓄電池対応ハイブリッド パワーコンディショナ
ダイヤゼブラ電機株式会社				図番[Drawing No.]

A  
B  
C  
No.1/1

## 5. ラベル図及び印刷表示



## (1) 定格ラベル

AV		EneTelus		JET 1677	
品名: ハイブリッドパワーコンディショナ		型名: EHK-S99MP5B			
連系運転時	定格出力電圧	単相 3W+PE AC 101/202V			
	定格出力	9.9kW(力率0.95時)9.9kW(力率1.0時)			
	運転力率範囲	0.80 - 1.00			
	定格出力周波数	50 / 60 Hz			
	定格出力電流	49.5 A			
自立運転時	出力電圧	単相 3W AC 101/202V			
	定格出力周波数	50 / 60 Hz			
	最大出力電流	27.5 A			
	最大出力	5.5 kVA			
蓄電池	最大電圧	450 V			
	充電 / 放電能力	5.5kW			
入力 (系統)	定格入力電圧	単相 3W+PE AC 101/202V			
	最大入力電流	27.5 A			
入力 (太陽電池)	入力電圧範囲	DC 30 - 450 V			
	最大入力電流	13.5 A			
質量	48 kg				
使用環境温度範囲	-20 - 50 °C				
使用環境湿度範囲	0 - 90 %				
保護クラス	I				
製造番号					
販売元		ダイヤゼブラ電機株式会社			
MADE IN JAPAN			ZH24008-6001-00-01		

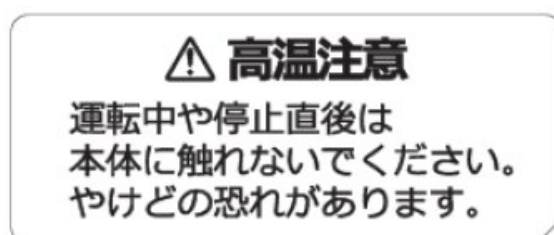
## (2) ロゴラベル



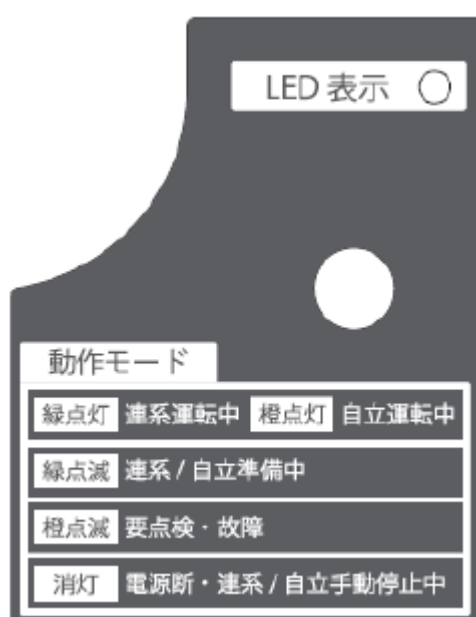
## (3) PL ラベル

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●煙・異音・異臭などの発生時には、分電盤内のパワーコンディショナ専用のブレーカーを切り、販売店にご連絡ください。</li> <li>●パワーコンディショナ付近に湯気・水蒸気・腐食ガスを出す機器を置かない。また塩害地域、砂塵が発生する環境に設置しない。感電・火災・故障の危険性があります。</li> <li>●前パネルを開けないこと。感電・火災・故障の危険性があります。</li> <li>●上に乗ったり、ぶら下がったりしない。けが・故障の危険性があります。</li> </ul>
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上下 30cm 以内、左右 1cm 以内に物を置かない。本来の性能が発揮できなくなります。</li> <li>●開口部はふさがない。故障の原因となります。</li> <li>●開口部から物を入れない。故障の原因となります。</li> <li>●上に物を置かない。落ちたり倒れたりして、けがの危険性があります。</li> <li>●運転中や停止直後はパワーコンディショナに触らない。やけどの恐れがあります。</li> </ul>

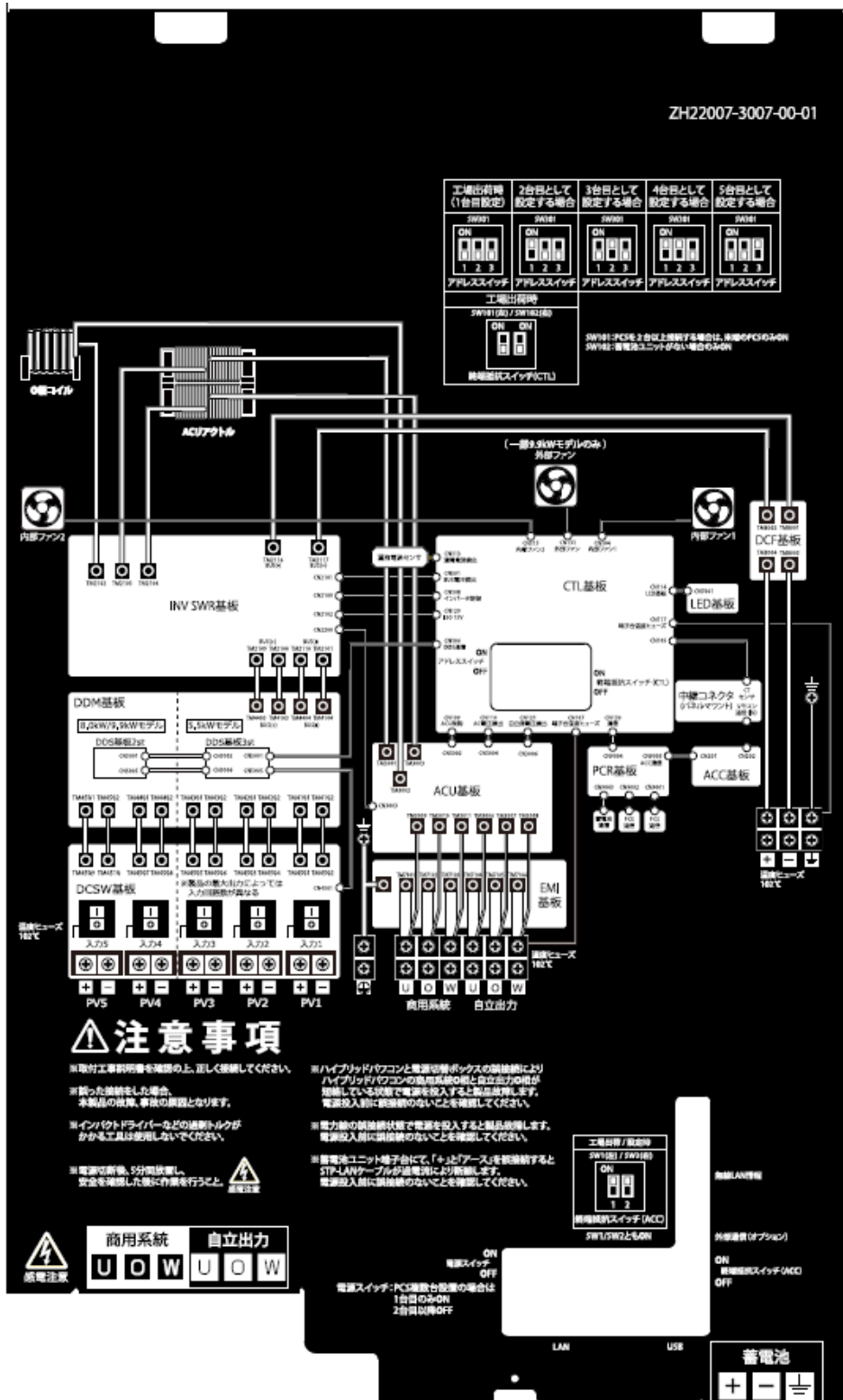
## (4) 注意ラベル



## (5) LED ラベル



(6) -1 バリア印刷

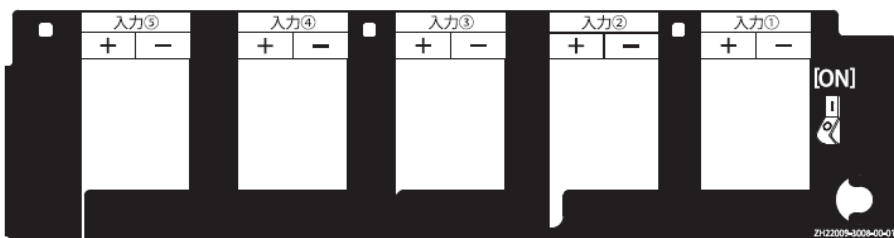


**⚠ 注意事項**

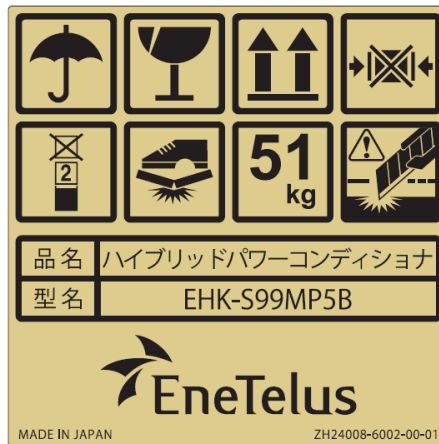
- ※取付工事説明書を参照の上、正しく接続してください。
- ※誤った接続をした場合、本製品の故障、事故の原因となります。
- ※インバータドライバなどの接続ケーブルが、かぎ工具は使用しないでください。
- ※電源切断後、5分間放置し、安全を確認した後に作業を行ってください。
- ※ハイブリッドパソコンと電源制御ボックスの接続時に、ハイブリッドパソコンの電源供給の停止と自立出力の供給が同時に発生する状態で電源を投入すると製品が故障し、電源投入時に接続のいないことを確認してください。
- ※電力線の接続状態で電源を投入すると製品が故障します。電源投入前に接続のいないことを確認してください。
- ※蓄電池ユニット端子台にて、「+」と「アース」を接続すると、STP-LANケーブルが過電流により故障します。電源投入前に接続のいないことを確認してください。



(6) -2 バリア印刷



## (7) 梱包ラベル



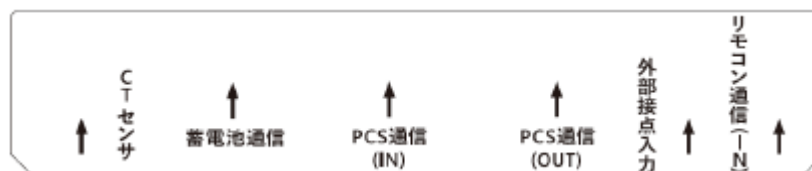
## (8) 蓄電池端子台ラベル



## (9) AC 端子台ラベル



## (10) 通信線接続先ラベル



## 6. ラベル貼付図

筐体外部

**⚠ 高温注意**  
 運転中や停止直後は  
 本体に触れないでください。  
 やけどの恐れがあります。

注意ラベル

認証ラベル



ロゴラベル

PV EneTelus		型式: D18K-S99MP38	
品名: ハイブリッドパワーコンディショナ	定額出力電圧	単相 3W+FE AC 101/202V	
連続運転時	定額出力	9.9kW(力率0.95時)9.9kW(力率1.0時)	
	運転力率範囲	0.80~1.00	
	定額出力周波数	50 / 60 Hz	
	定額出力電流	49.5 A	
自立運転時	出力電圧	単相 3W AC 101/202V	
	定額出力周波数	50 / 60 Hz	
	最大出力電流	27.5 A	
	最大出力	5.5 kVA	
蓄電池	最大電圧	450V	
	充電/放電能力	5.5kW	
入力	定額入力電圧	単相 3W+FE AC 101/202V	
(系統)	最大入力電流	27.5 A	
入力	入力電圧範囲	DC 30~450V	
(太陽電池)	最大入力電流	13.5 A	
質量		4.8 kg	
使用環境温度範囲		-20~50℃	
使用湿度範囲		0~90%	
保護クラス		I	
製造番号			
販売元	ダイワゼブラ電機株式会社		
MADE IN JAPAN	Z121014001-0001		

定格ラベル

<b>⚠ 警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●煙・異音・異臭などの発生時には、分電盤内のパワーコンディショナ専用のブレーカーを切り、販売店にご連絡ください。</li> <li>●パワーコンディショナ付近に湯気・水蒸気・腐食ガスを出す機器を置かない。また塩害地域、砂塵が発生する環境に設置しない。感電・火災・故障の危険性があります。</li> <li>●前パネルを開けないこと。感電・火災・故障の危険性があります。</li> <li>●上に乗ったり、ぶら下がったりしない。けが・故障の危険性があります。</li> </ul>
<b>⚠ 注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上下 30cm 以内、左右 1cm 以内に物を置かない。本来の性能が発揮できなくなります。</li> <li>●開口部はふさがない。故障の原因となります。</li> <li>●開口部から物を入れない。故障の原因となります。</li> <li>●上に物を置かない。落ちたり倒れたりして、けがの危険性があります。</li> <li>●運転中や停止直後はパワーコンディショナに触らない。やけどの恐れがあります。</li> </ul>

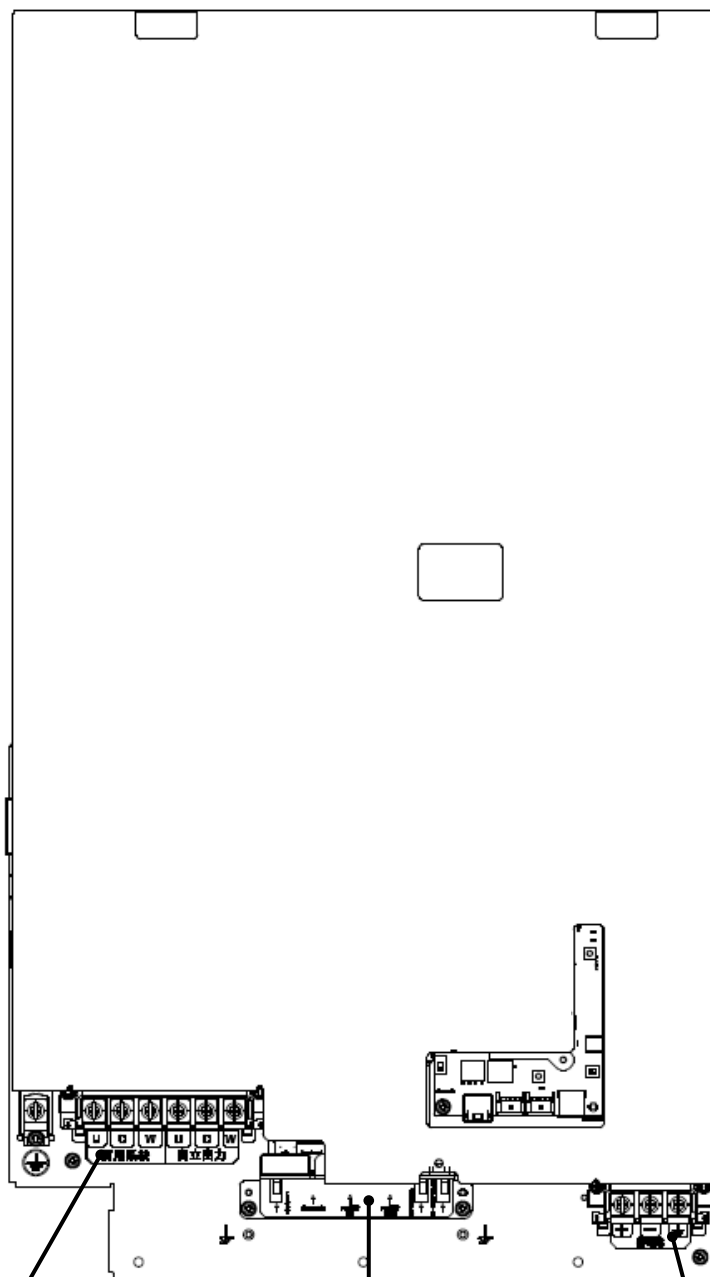
PL ラベル



LED 表示 ○	
動作モード	
緑点灯	連系運転中
橙点灯	自立運転中
緑点滅	連系 / 自立準備中
橙点滅	要点検・故障
消灯	電源断・連系 / 自立手動停止中

LED ラベル

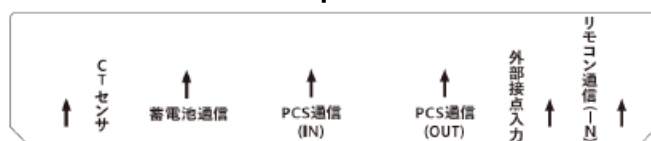
筐体内部



AC 端子台ラベル

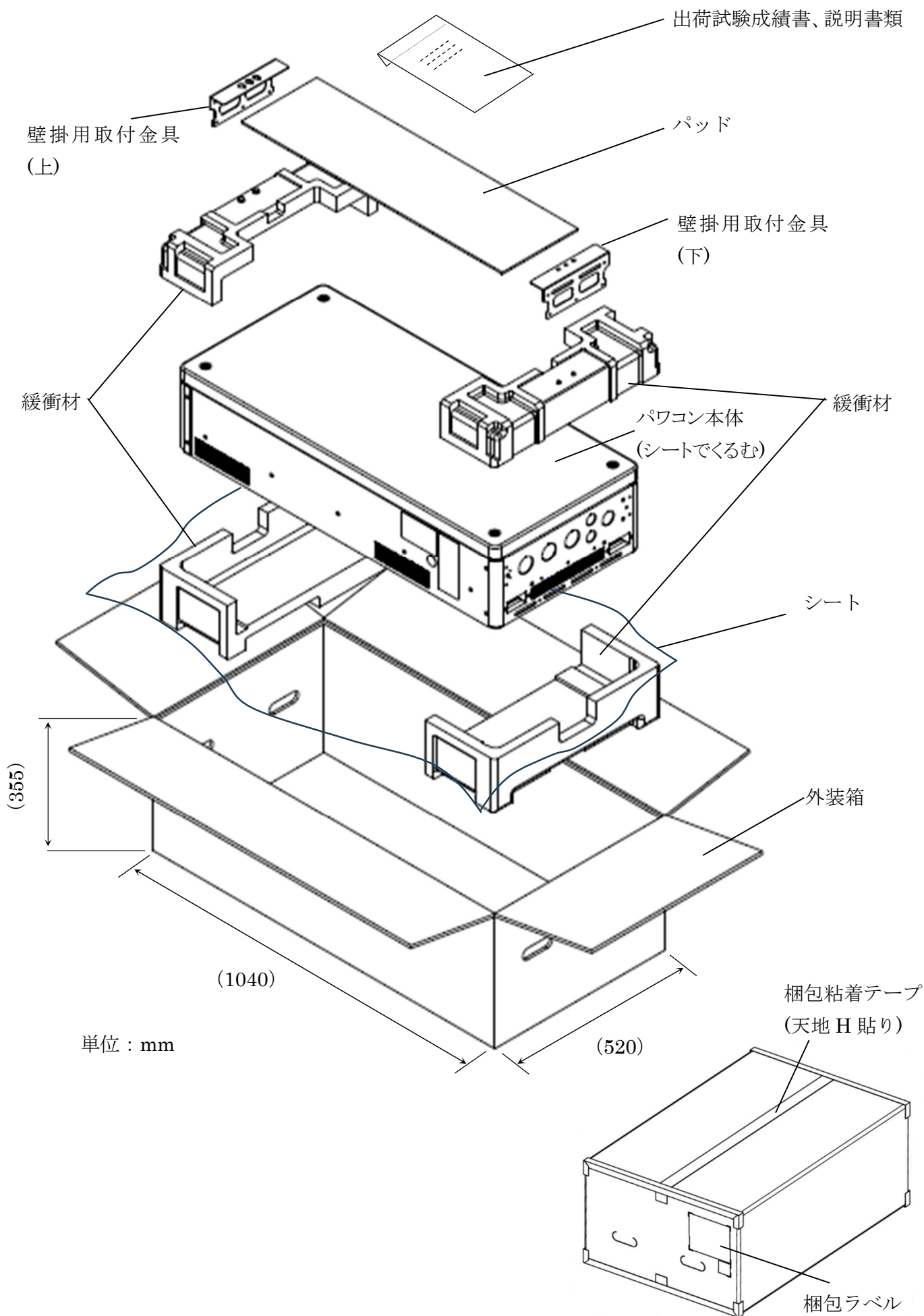


蓄電池端子台ラベル



通信接続先ラベル

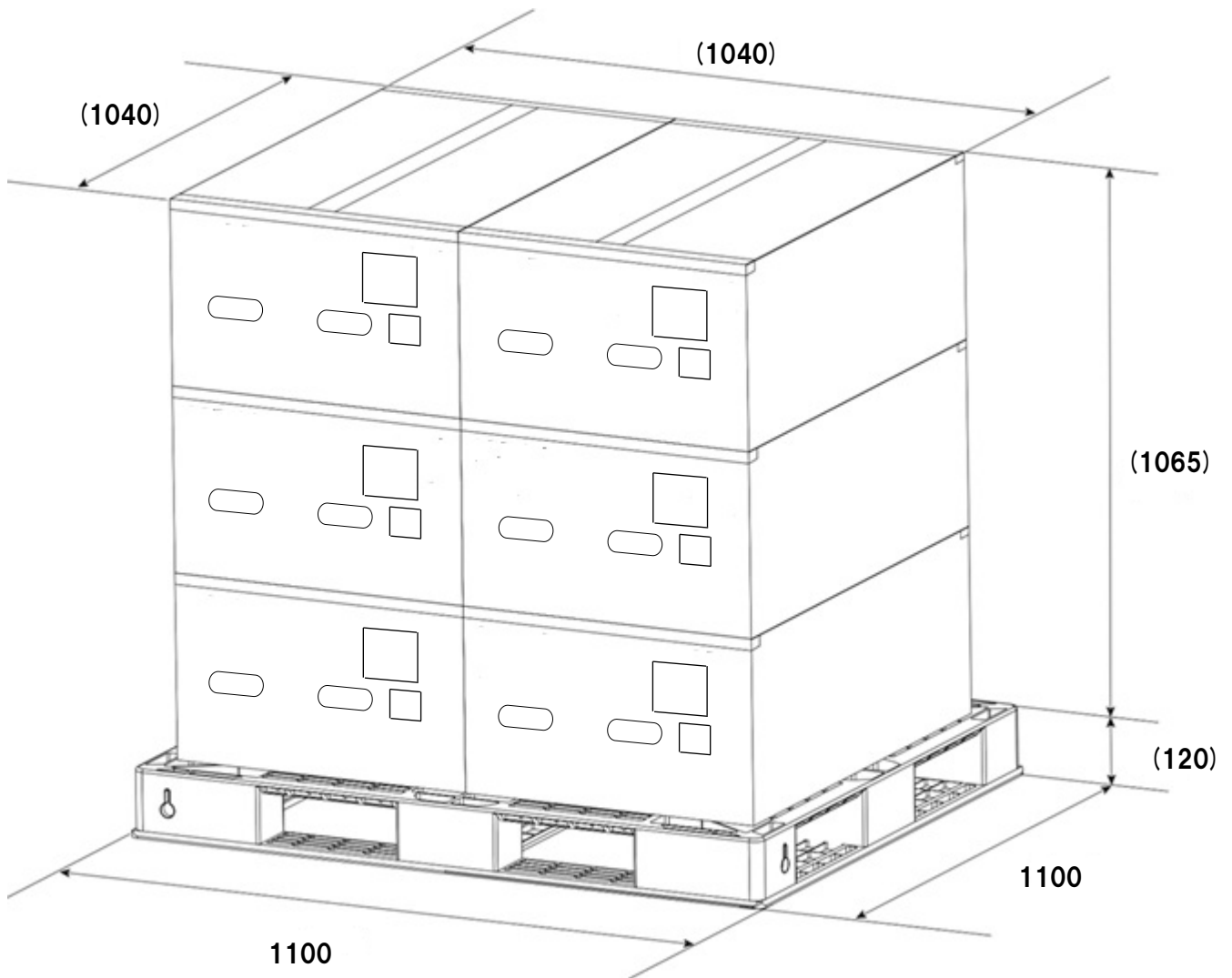
7. 梱包仕様



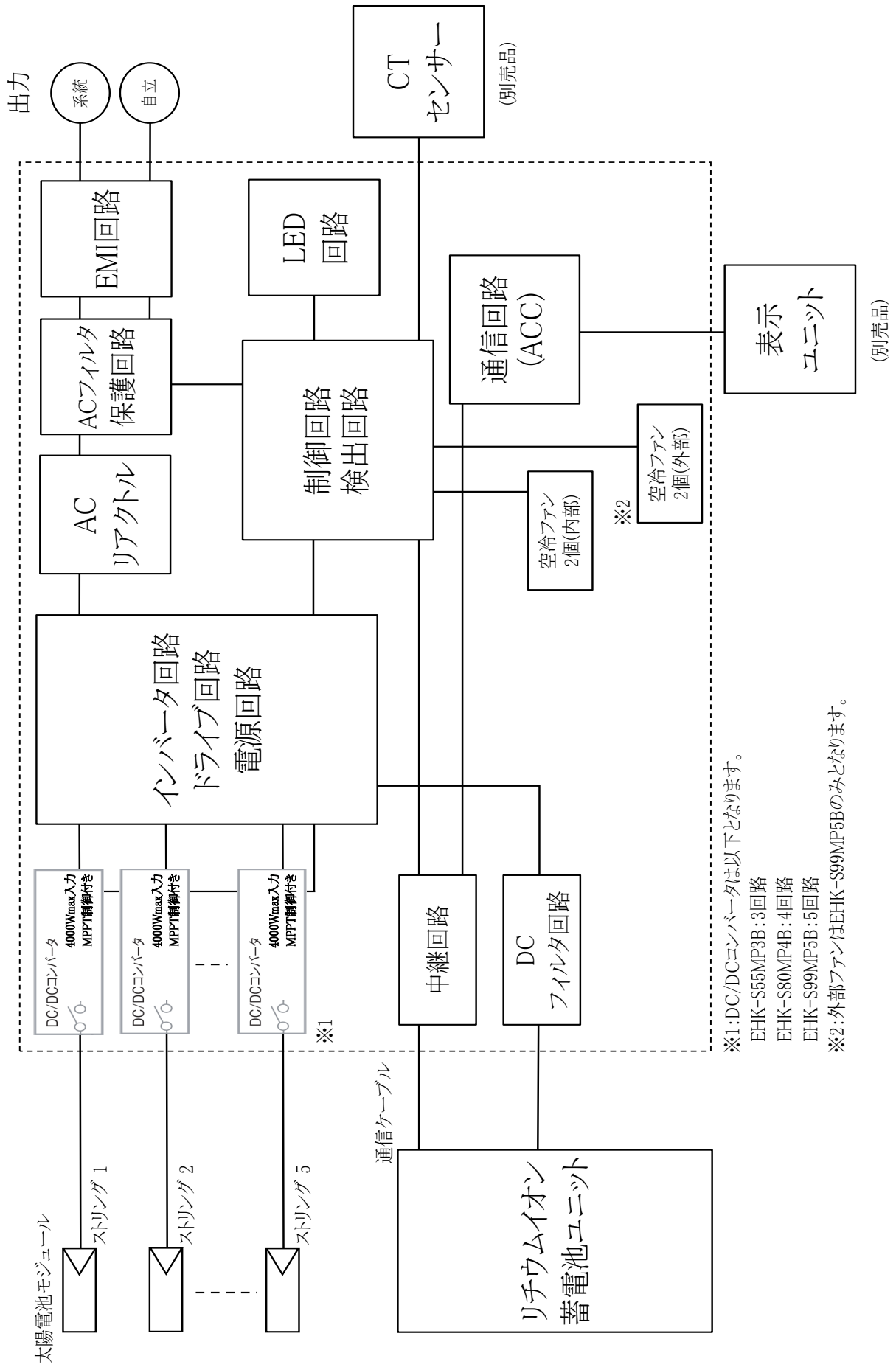
## 8. 荷姿図

パレットサイズは 1,100×1,100×120(mm)、または 1,200×1,000×125(mm)を使用する。

- ・積段数は 3 段積みまでとする。
- ・バーコードラベル貼り付け側が同じ側になるようにパレットに積載すること。
- ・必要数を積載後、荷崩れしないようにラップを巻きつけること。



9. 主回路ブロック図



※1:DC/DCコンバータは以下となります。  
 EHK-S55MP3B:3回路  
 EHK-S80MP4B:4回路  
 EHK-S99MP5B:5回路  
 ※2:外部ファンはEHK-S99MP5Bのみとなります。



## パワーコンディショナ出荷検査成績書

品名	パワーコンディショナ	形名	
製造番号	1234567890	総合判定	
検査日	年 月 日		

## 【試験結果】

## 1. 絶縁耐電圧

検査項目	判定基準	判定
絶縁抵抗	DC500V、1M $\Omega$ 以上	
絶縁耐電圧	AC1350V、1分間	

## 2. 漏洩電流

検査項目	判定基準	判定
漏洩電流	5mA以下	

## 3. 出力特性

判定基準 力率:95%( $\pm$ 1%) 電流歪率:各次3%以下、総合5%以下

入力条件 太陽光のみ入力

周波数	交流出力		力率	電流歪率		判定
	電圧	電力		各次	総合	
50Hz						
60Hz						

判定基準 力率:95%( $\pm$ 1%)

入力条件 蓄電池のみ入力(放電時)

周波数	交流出力		力率	判定
	電圧	電力		
50Hz				

## 4. 連系保護リレー機能試験

検査項目	設定値	判定基準	動作値	設定時間	判定時間	動作時間	停止モード	判定
OVR	115.0V	$\pm$ 2%		1.0s	$\pm$ 0.1s		g111	
UVR	80.0V	$\pm$ 2%		1.0s	$\pm$ 0.1s		g116	
OFR	51.0Hz	$\pm$ 0.1Hz		1.0s	$\pm$ 0.1s		g311	
UFR	47.5Hz	$\pm$ 0.1Hz		2.0s	$\pm$ 0.1s		g316	

## 5. 逆電力検出試験

判定基準	動作値	判定時間	動作時間	判定
275W以下		0.5s以下		